

梅毒の発生動向【沖縄県：2014年～2024年】

県内データは2025年7月2日現在

感染症発生動向調査において、2014年～2024年※に診断され届け出られた梅毒の情報※※を還元します。

※疫学週によります。具体的な各年の集計対象期間は下表のとおりで、診断日を基に集計しました。

※※県内データは2025年7月2日現在で、全国データの作成時点は下表のとおりです。

所属年	集計対象期間		全国データ作成時点
2014年	2013年12月30日 月曜日	～ 2014年12月28日 日曜日	2015年10月25日
*2015年	2014年12月29日 月曜日	～ 2016年1月3日 日曜日	2016年10月23日
2016年	2016年1月4日 月曜日	～ 2017年1月1日 日曜日	2017年10月28日
2017年	2017年1月2日 月曜日	～ 2017年12月31日 日曜日	2018年10月27日
2018年	2018年1月1日 月曜日	～ 2018年12月30日 日曜日	2019年10月26日
2019年	2018年12月31日 月曜日	～ 2019年12月29日 日曜日	2020年10月31日
*2020年	2019年12月30日 月曜日	～ 2021年1月3日 日曜日	2021年10月30日
2021年	2021年1月4日 月曜日	～ 2022年1月2日 日曜日	2022年10月08日
2022年	2022年1月3日 月曜日	～ 2023年1月1日 日曜日	2023年10月28日
2023年	2023年1月2日 月曜日	～ 2023年12月31日 日曜日	2024年10月28日
2024年	2024年1月1日 月曜日	～ 2024年12月29日 日曜日	2025年03月08日

*2015年および2020年は53週間、その他の年は52週間となっています。

(1) 報告数の推移（沖縄県・全国）

沖縄県における2024年の報告数は130人で、感染症法による全数報告が義務付けられた1999年以降、過去最多であった2023年を下回った。

全国における2024年の報告数は14,816人で、沖縄県と同様に1999年以降、過去最多であった2024年を下回った。



(2) 性別報告数の推移（沖縄県）

2024年の男性の報告数は81人で、前年比0.78でした。

2024年の女性の報告数は49人で、前年比1.14でした。

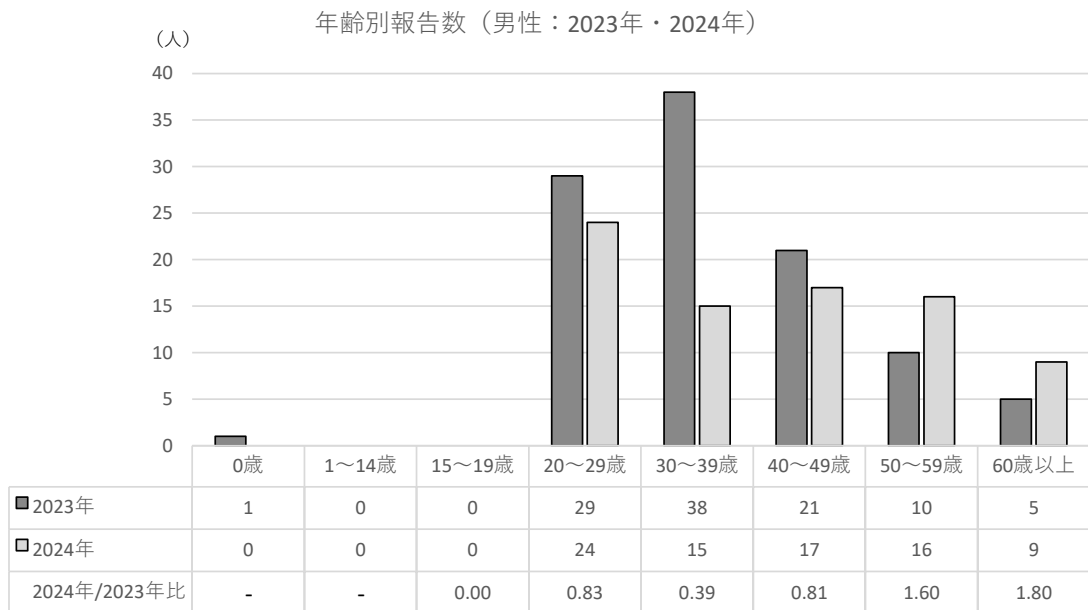


（３）性別・年代別報告数（沖縄県：2023年・2024年）

①男性・年代別報告数

2023年と同様に、2024年も20代から50代の報告が多くありました。

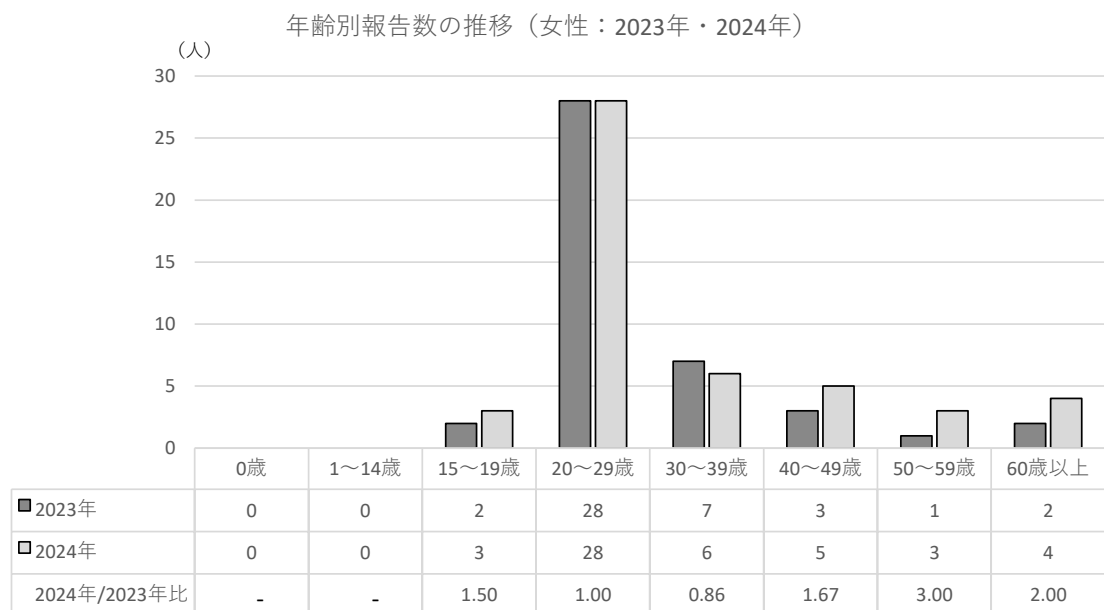
2024年/2023年比でみると、20～29歳、30～39歳、40～49歳は1を下回りましたが、50～59歳及び60歳以上は1以上でした。



②女性・年代別報告数

2023年と同様に、2024年も20代の報告が多くありました。

2024年/2023年比でみると、30～39歳は1を下回ったが、15～19歳、20～29歳、40～49歳、50～59歳、60歳以上は1以上でした。



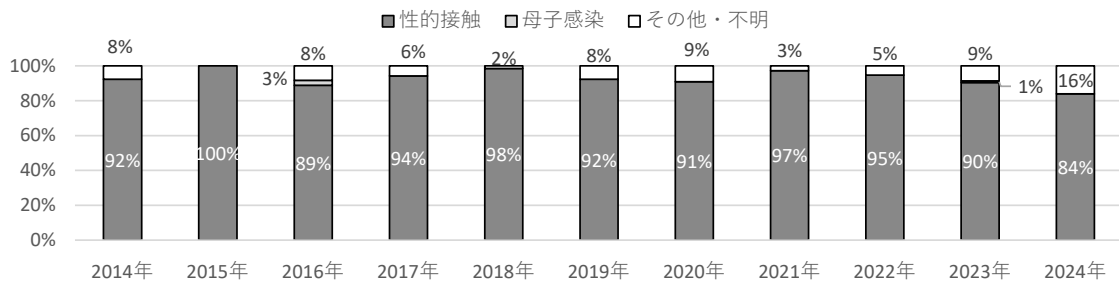
(4) 性別・感染経路別報告割合（沖縄県）

①男性・感染経路別報告割合

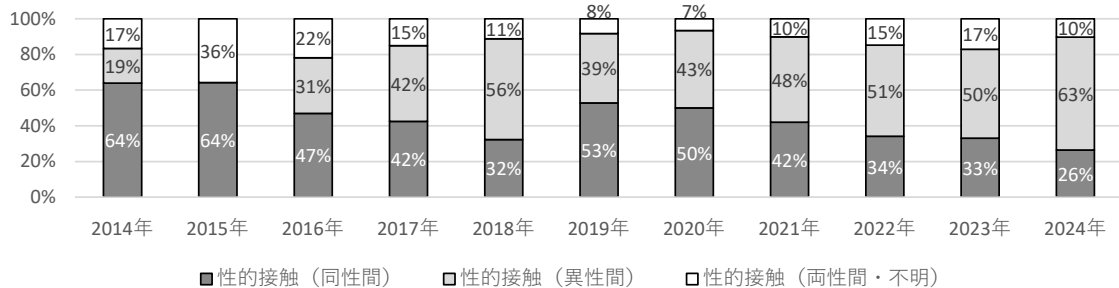
性的接触が84%～100%で推移しています。

2021年以降、性的接触（異性間）の割合が性的接触（同性間）の割合よりも大きい状況が続いています。

感染経路別報告割合の推移（男性）



性的接触の内訳の推移（男性）

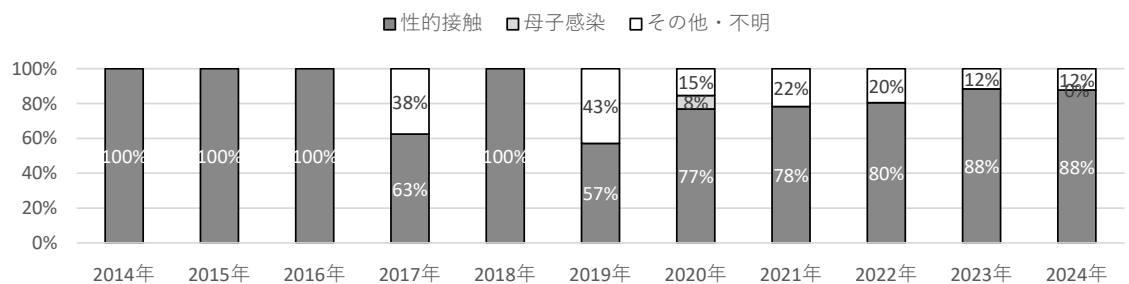


②女性・感染経路別報告割合

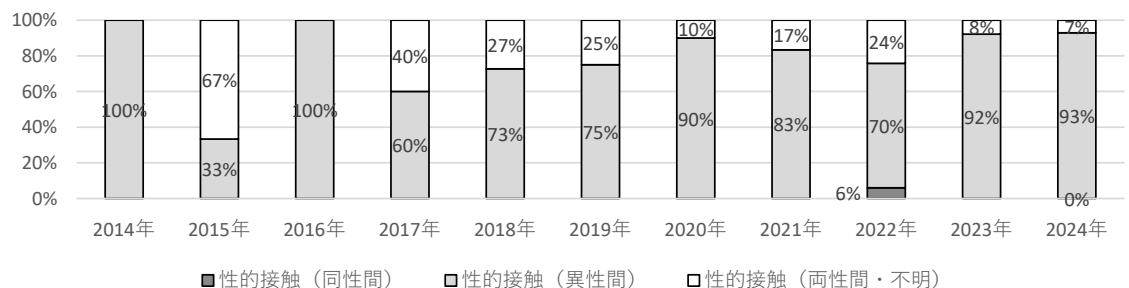
性的接触が57%～100%で推移しています。

性的接触のうち、性的接触（異性間）が多数を占めています。

感染経路別報告割合の推移（女性）



性的接触の内訳の推移（女性）

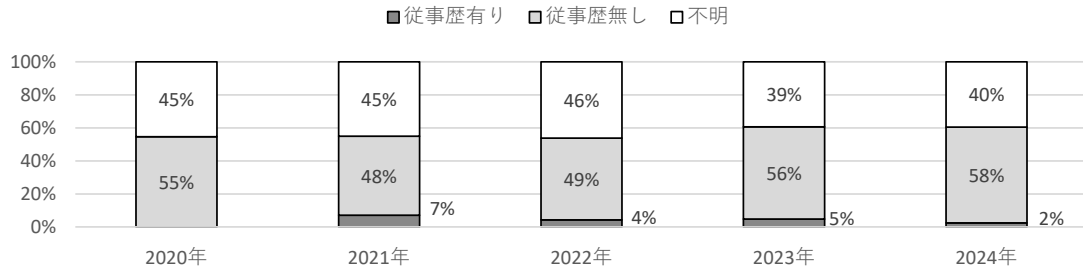


(5) 性別・性風俗産業の従事歴（直近6か月以内）の有無（沖縄県）

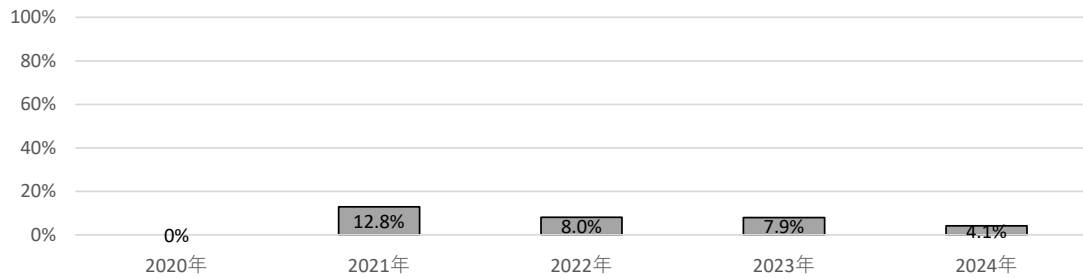
①男性

従事歴無しの報告は48%～58%の割合で推移しています。
2024年の不明を除いた従事歴有りの割合は2023年よりも減少しました。

性風俗産業の従事歴（直近6か月以内・男性）



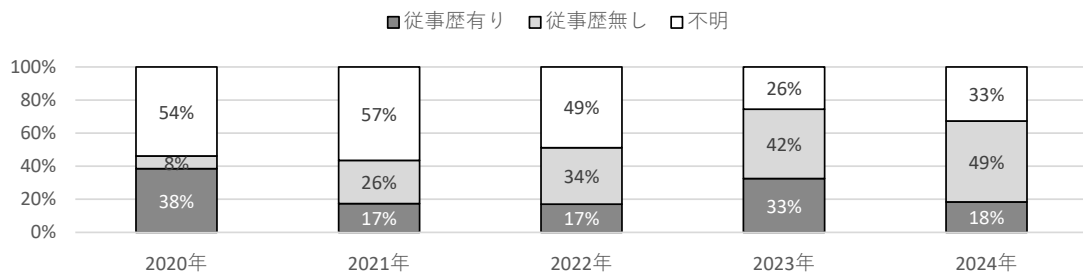
性風俗産業の従事歴有り割合（不明を除く）



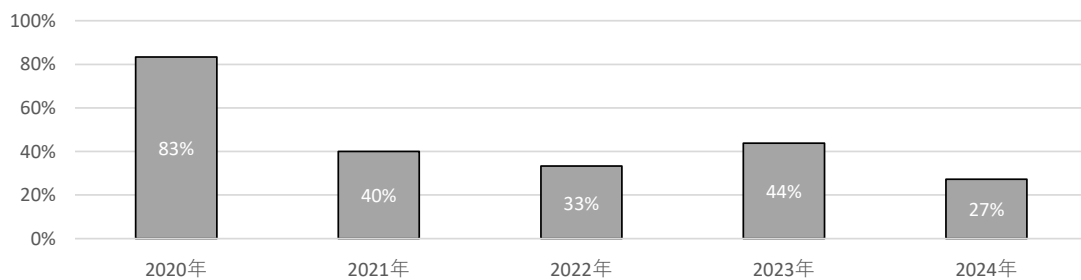
②女性

従事歴無しの報告の割合は2020年以降増加傾向にあります。
2024年の不明を除いた従事歴有りの割合は2023年よりも減少しました。

性風俗産業の従事歴（直近6か月以内・女性）



性風俗産業の従事歴有り割合（不明を除く）



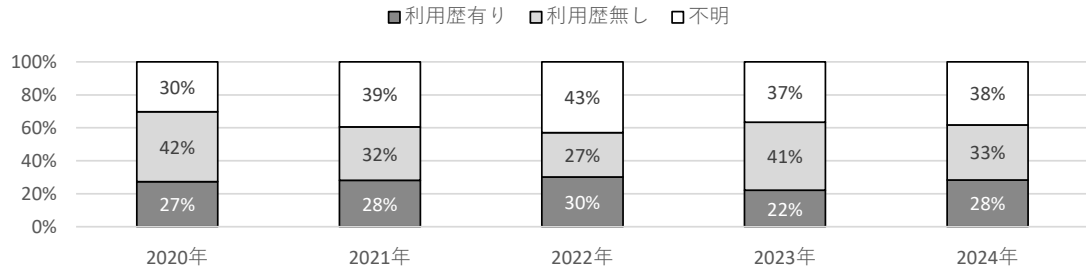
(6) 性別・性風俗産業の利用歴（直近6か月以内）の有無（沖縄県）

①男性

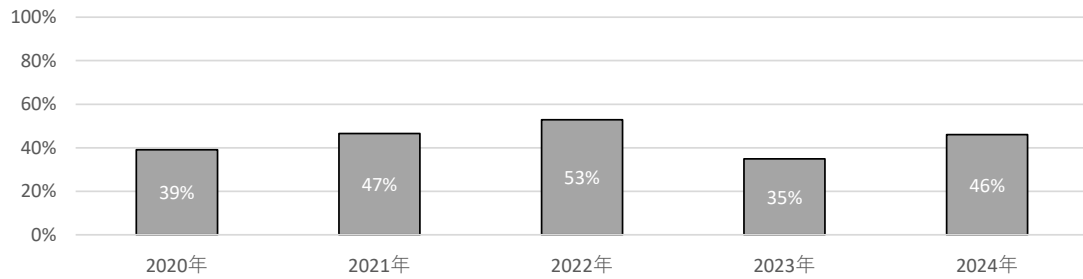
利用歴無しの報告は27%～42%の割合で推移しています。

2024年の不明を除いた利用歴有りの割合は2023年よりも増加しました。

性風俗産業の利用歴（直近6か月以内・男性）



性風俗産業の利用歴有り割合（不明を除く）

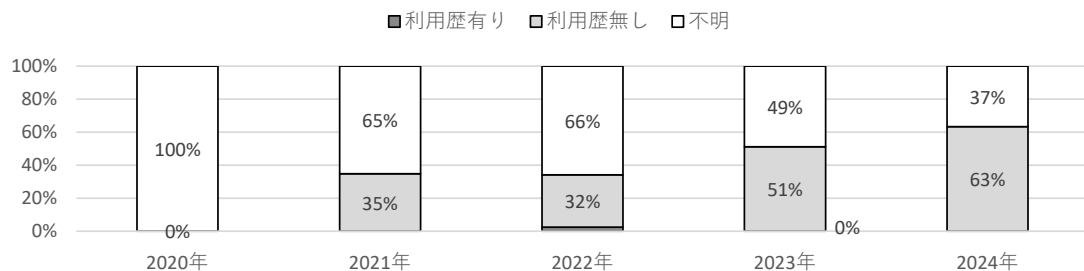


②女性

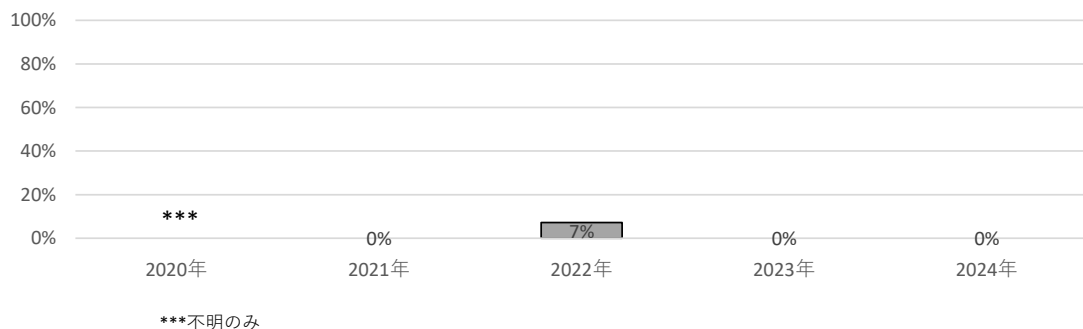
利用歴無しの報告は0%～63%の割合で推移しています。

2024年は利用歴有りの報告はありませんでした。

性風俗産業の利用歴（直近6か月以内・女性）



性風俗産業の利用歴有り割合（不明を除く）

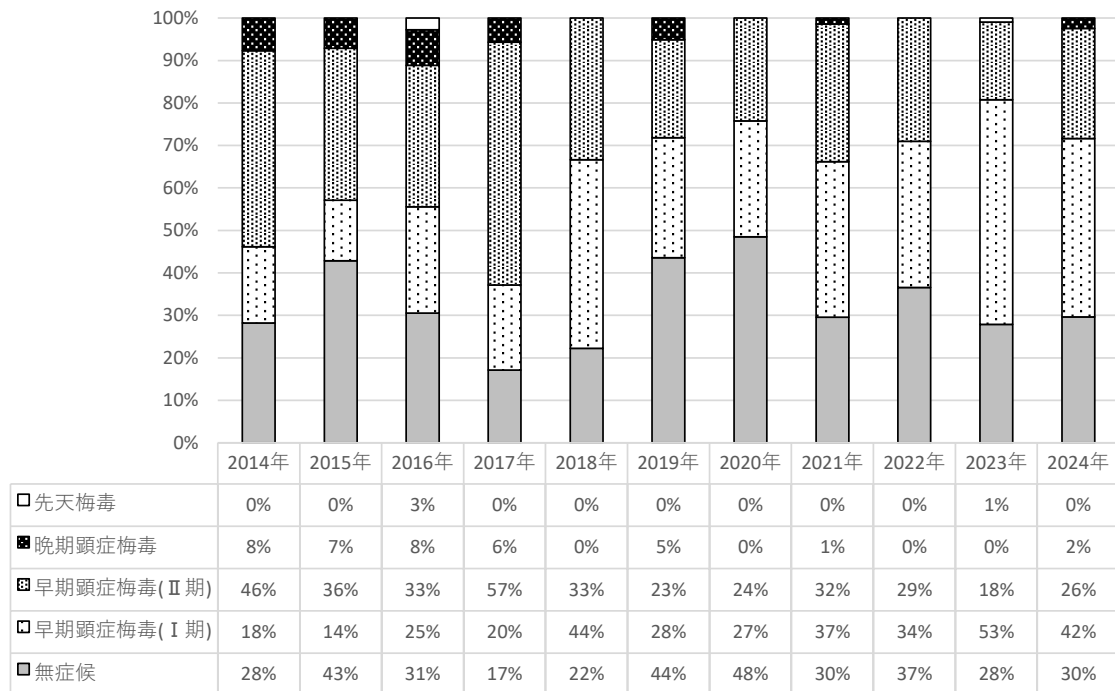


(7) 性別・症状別報告割合（沖縄県）

①男性

2018年以降、早期顕症梅毒(Ⅰ期)の割合は早期顕症梅毒(Ⅱ期)よりも大きくなっています。

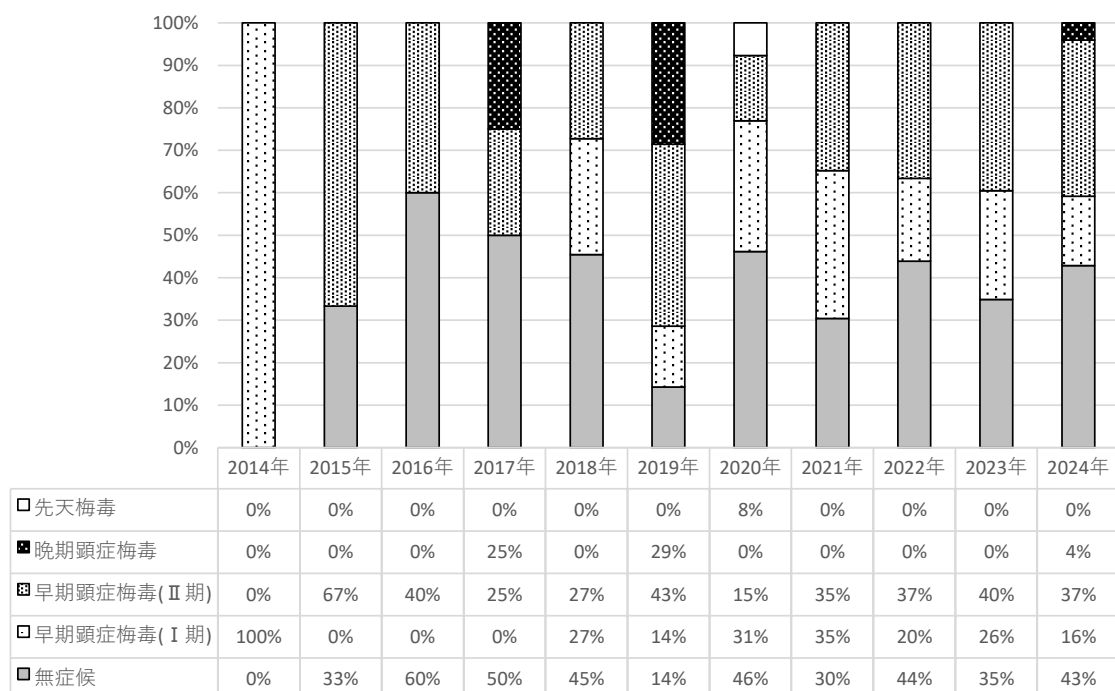
症状別報告割合（男性）



②女性

早期顕症梅毒(Ⅰ期)の割合は早期顕症梅毒(Ⅱ期)よりも小さい傾向です。

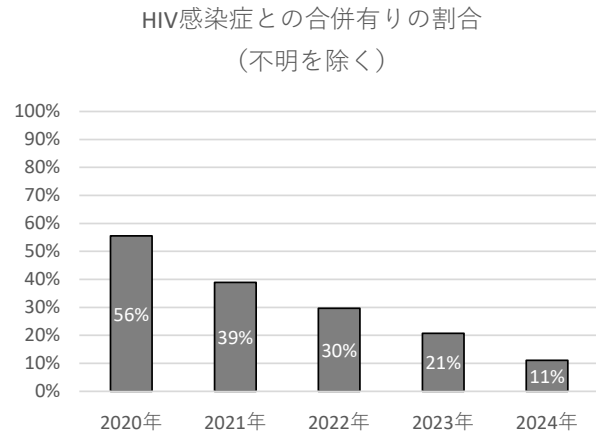
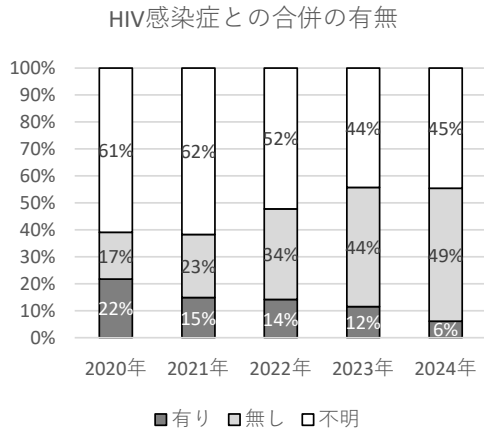
症状別報告割合（女性）



(8) HIV感染症との合併の有無（沖縄県）

「合併無しの報告の割合」は2020年以降増加傾向となっています。「合併有りの報告の割合」は2020年以降減少傾向となっています。

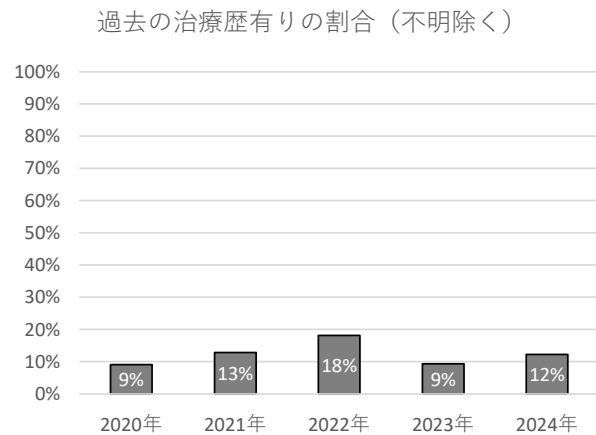
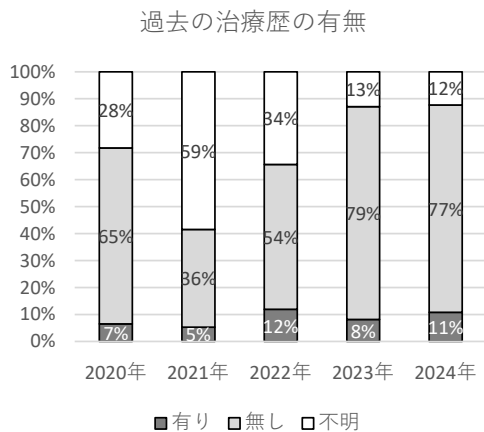
不明を除いた合併有りの割合は2020年以降減少傾向です。



(9) 過去の治療歴の有無（沖縄県）

治療歴無しの報告の割合は36~79%の割合で推移しています。

2024年の不明を除いた治療歴有りの割合は2023年より増加しています。



(1 0) 妊娠の有無（沖縄県）

妊娠無しの報告の割合は2021年以降72%~78%で推移しています。

不明を除いた妊娠有りの割合は2021年以降20%程度で推移しています。

